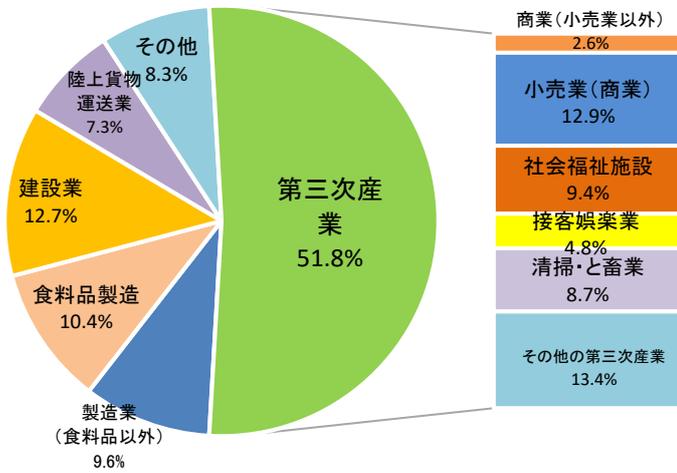


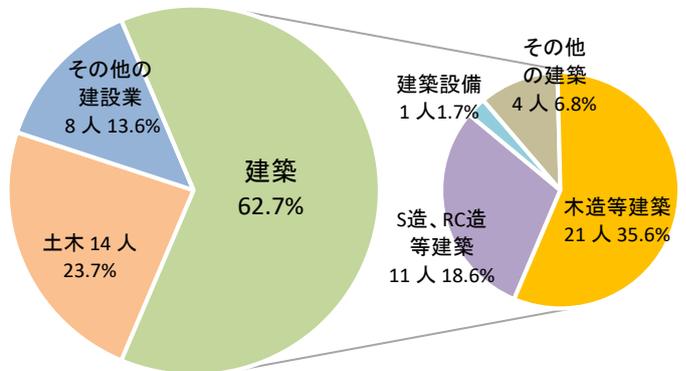
## 24.高年齢労働者※災害の発生状況（令和2年）

（※本分析においては、60歳以上を高年齢労働者として分析した。高年齢労働者災害：606人）

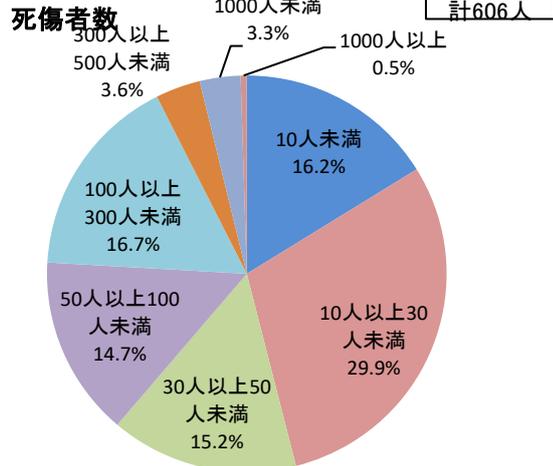
### (1) 主要業種別高年齢労働者死傷者数606人



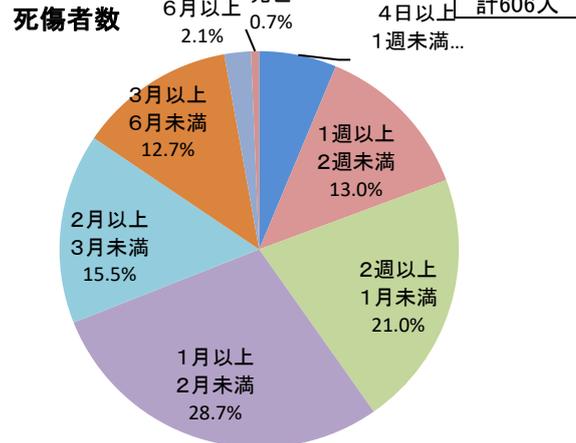
### 建設業77人



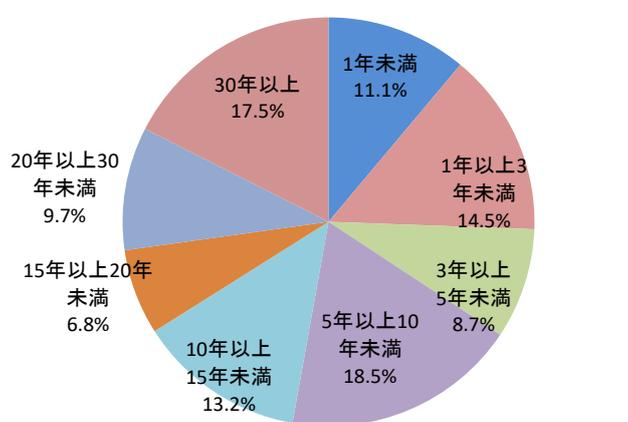
### (2) 【高齢者】事業場規模別



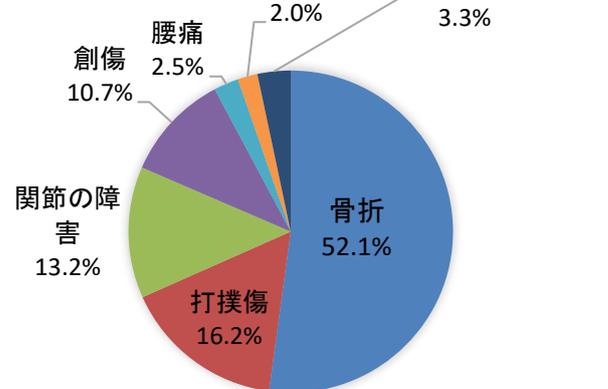
### (3) 【高齢者】被災程度別

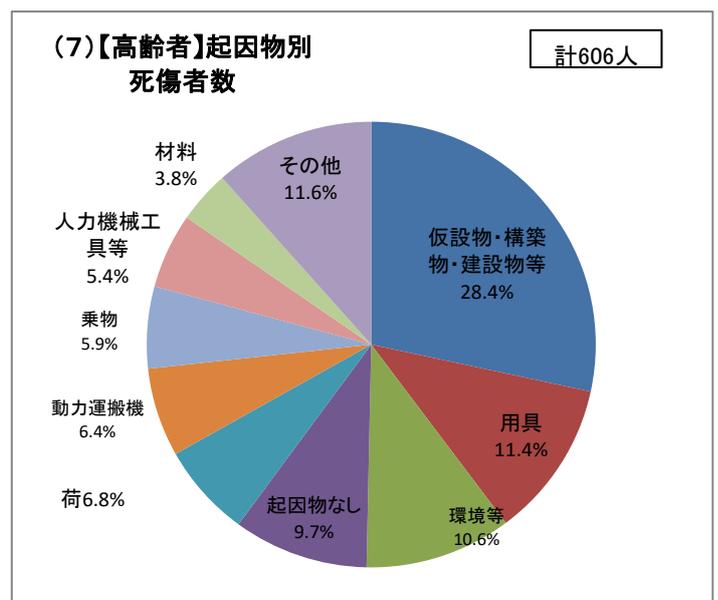
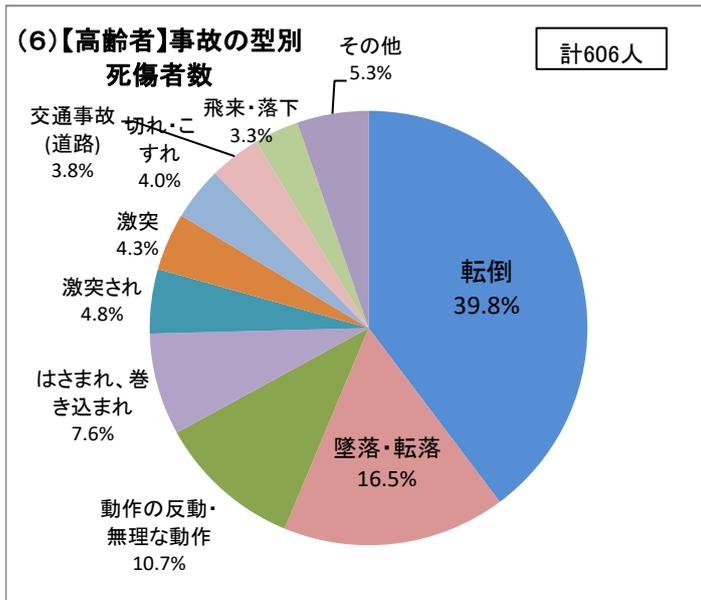


### (4) 【高齢者】経験年数別



### (5) 【高齢者】傷病性質別





1. 業種別では、「製造業」が20.0%（食料品製造業10.4%、食料品以外の製造業9.6%）と最も多く、次いで「商業」が15.5%（小売業12.9%、小売業以外2.6%）となっている。「第三次産業」は51.8%を占めており、特に「小売業」の占める割合が最も多く、次いで「社会福祉施設」12.9%となっている。
2. 事業場規模別では、「10人以上30人未満」が29.9%と最も多く、次いで「100人以上300人未満」16.7%、「10人未満」が16.2%の順となっている。50人未満の事業場で61.3%を占めている。
3. 被災程度別では、「1月以上2月未満」が28.7%と最も多く、次いで「2週以上1月未満」が21.0%、「2月以上3月未満」15.5%の順となっている。休業1月以上が59.7%となっている。
4. 経験年数別では、「5年以上10年未満」が18.5%と最も多く、次いで「30年以上」が17.5%、「1年以上3年未満」14.5%の順となっている。
5. 傷病性質別では、「骨折」が52.1%と最も多く、次いで「打撲傷」16.2%、「関節の障害」が13.2%の順となっている。
6. 事故の型別では、「転倒」が39.8%と最も多く、次いで「墜落・転落」が16.5%、「動作の反動・無理な動作」10.7%の順となっている。